



From
the People of Japan

令和2年12月24日、ヌアクショット

プレスリリース

令和元年度補正予算 IOM 案件「モーリタニアにおける気候変動により引き起こされた自然災害への防災対策及びレジリエンスの強化」に係る 機材引渡式

令和2年12月24日、ヌアクショットにて令和元年度補正予算国際移住機関（IOM）案件「モーリタニアにおける気候変動により引き起こされた自然災害への防災対策及びレジリエンスの強化」の枠組みで、消火器7台、モーターポンプ8台がモーリタニアへ供与されました。

これら機材の引渡式には、江原功雄駐モーリタニア特命全権大使、シャローナ・キャメロン IOMモーリタニア事務所臨時代表及びハッタール・ウルド・モハメド・ムバレク・ウルド・ンブッデ（Khattar Ould Mohamed M'Bareck Ould M'Bedde）消防庁長官が参加しました。

今回供与された機材は、南部（ギディマカ州及びホード・エッシャルギ州）へ配備され、特に国境地帯での自然災害に対する防災能力及びリスク軽減対策能力を強化するとともに、気候変動により引き起こされる国内避難民の発生予防に資することが見込まれます。

また、6月には同案件の枠組みで、新型コロナウイルス感染症拡大に対抗すべく、マスクや防護服、消毒ジェルなど、モーリタニアのコロナ対策に資する医療備品の供与も行われました。

日本政府は、ガズワニ大統領の政策にも一致する防災能力強化及び新型コロナウイルス感染症対策を今後とも支援して参ります。



From
the People of Japan

